

平成25年度

事業報告書

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

目 次

事業概要

事業内容

I. 法人運営

1	社協会員の募集	6 ページ
2	寄付金の状況	7
3	受託金、補助金の状況	7
4	法人全体の事業収支	8
5	事業別人員構成	8
6	人件費	8
7	会務の運営	9
8	事務局会議	10
9	職員の登用及び任用	10
10	会長の活動記録	11
11	教育研修	11
12	笛吹市への職員出向及び人事交流	11
13	福祉活動の理解と促進	11
14	視察研修受託及び講師派遣等	11
15	苦情処理	12
16	指定管理施設の運営	12

II. 事業の状況

1	共同募金配分金事業	13
2	総合相談事業	14
3	各種資金貸付事業	15
4	地域福祉助成金事業	15
5	福祉活動団体への支援	15
6	ボランティア活動支援事業	16
7	ネットワークづくり事業	18
8	介護予防事業（やってみるじゃん）	19
9	生きがい支援事業（高齢者社会見学バス）	20
10	緊急通報体制整備事業（救急コール）	21

1 1	権利擁護事業	2 1
1 2	後見センター事業	2 1
1 3	障がい者地域生活支援事業	2 2
	(1) 相談支援事業	2 2
	(2) 地域活動支援センターⅠ型事業	2 3
	(3) 精神障がい者デイケア	2 3
	(4) 地域生活支援事業	2 4
	(5) 地域活動支援センターⅢ型事業	2 4
1 4	介護サービス事業	2 5
	(1) 通所介護事業	2 5
	(2) 訪問介護事業	2 7
	(3) 居宅介護支援事業	2 7
	(4) 指導監査	2 8

事業概要

笛吹市社会福祉協議会は、平成24年度からの第2次地域福祉活動計画で「こんなまちであつたらいいな 安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」をスローガンとして、地域福祉活動を行なってきました。これからの地域福祉は、「新しい公」という概念のもと、「自助」「地域の共助」「公助（公的な福祉サービス）」という住民と行政の協働という枠組みの中で展開されていきます。社協は「自助」と「公助」をつなぐ「地域の共助」という役割を担っています。私たちはこの役割を具現化するために、平成25年1月に「発展強化プラン」を策定し、これからの地域福祉のあり方について住民参加を得ながらさまざまな相談や支援などに対応した挑戦の1年でした。

「地域の共助」として、民生・児童委員との協働で8月には熱中症対策を行ない、把握したすべての高齢者・障がい者宅を訪問し、元気に夏を乗り切るお手伝いをする事ができました。2月の大雪の際には、地域住民、区役員、民生・児童委員と協働して、孤立した住民への声かけ、雪かき、食糧支援などを行ない「地域の共助」が発揮されました。さらに、市の災害対策本部に雪害ボランティアセンターを設置し、市とボランティアと協働で雪害対策に対応しました。他にも、地域の商店・JAなどとの見守り協定の締結や地域住民による「見守り隊」の発足など、「地域の共助」の基礎が強化されました。

障がい者支援では、障がい者本人、家族の相談に積極的に関わり、障がい者が地区の行事に参加できるよう支援しました。また、防災訓練の際には、地域の住民に障がい者本人が「必要な支援」について伝えるなど、地域住民の一人として活動を広げることができました。

介護保険事業は、民間事業者の進出の中で競合が激しくなっていますが、居宅介護支援事業所が特定事業所として、困難な事例のケアプランを策定できる事業所に指定され、より質の高いケアプランの提供を行なっています。デイサービスでは、寝たきりで介護度が重度な利用者、医療度の高い利用者なども積極的に受け入れました。また、ヘルパー部門でも在宅で生活するALSなどの難病の利用者を積極的に受け入れました。介護部門でこのような利用者の受け入れができる背景には、社協内外の研修会参加により職員の質の向上を図り、「どんな重度の利用者も断らない」という姿勢が共有され、より質の高いサービスが提供できるようになってきたことがあります。このような社協の特質を発揮して、他事業所との差別化を図ってきました。

組織の強化では、有期契約職員6名を正規職員として登用しました。さらに、管理監督職の任用制度により、新しい視点で時代に対応できる組織作りに取り組みました。

このような活動は広報やホームページなどでも紹介をさせていただいておりますが、地域住民から頼りにされる社協に、少しずつではありますが、着実に前進して

いるものと確信しております。

25年度、重点として取り組んだ主な事業は、以下のとおりです。

1. 社協内各部署の連携による相談業務の充実
2. 地域実態の把握と住民同士のつながりの発展
3. ボランティア活動への理解と参加促進
4. 防災・災害に対応できる個人・地域づくり
5. 必要な地域情報の整備と提供
6. 介護保険事業の適切な運用とサービスの質の向上
7. 子育てに関する研究に着手する

以上を着実に実践するため「笛吹市社会福祉協議会発展・強化プラン」の実行

事業内容

I. 法人運営

1 社協会員の募集

住民の地域福祉への参加意識の啓発と自主財源確保のため、行政区組織・民生委員協議会・老人クラブ・福祉推進員などの協力を得て社協会員の募集を行ない、多くの皆様に入会をしていただいた。

(単位：円)

会費区分	年度		本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川
普通 会員	23	金額		4,769,050	3,005,000	2,512,000	2,131,000	1,288,000	1,600,000	200,000
		件数		4,776	3,020	2,512	2,131	1,288	1,600	200
		世帯数		11,632	4,245	3,831	2,975	1,602	3,008	217
		加入率		41%	71%	66%	72%	80%	53%	92%
	24	金額		4,673,150	3,003,500	2,538,000	2,081,000	1,293,000	1,601,000	192,000
		件数		4,679	3,018	2,538	2,081	1,293	1,601	192
		世帯数		11,904	4,334	3,874	3,014	1,655	3,077	214
		加入率		39%	70%	66%	69%	78%	52%	90%
	25	金額		4,543,950	3,038,500	2,542,000	2,027,000	1,282,000	1,640,000	191,000
		件数		4,595	3,035	2,542	2,027	1,282	1,640	191
		世帯数		12,011	4,372	3,862	3,049	1,663	3,072	213
		加入率		38%	70%	66%	66%	77%	53%	89%
賛助 会員	23	金額		93,000	19,000	122,000	97,000	4,000	71,000	6,000
		件数		46	9	61	44	2	35	3
	24	金額		71,000	13,000	124,000	99,000	0	65,000	6,000
		件数		35	6	62	45	0	32	3
	25	金額		90,000	19,000	127,000	89,000	2,000	53,000	6,000
		件数		43	8	62	41	1	26	3
特別 会員	23	金額	210,000	620,000	345,000	320,000	140,000	45,000	180,000	0
		件数	31	124	69	64	28	9	36	0
	24	金額	215,000	635,000	425,000	335,000	165,000	45,000	165,000	0
		件数	27	122	55	49	33	9	32	0
	25	金額	210,000	640,000	510,000	355,000	185,000	55,000	150,000	0
		件数	23	124	53	53	34	11	28	0

4 法人全体の事業収支

一般会計

(単位：円)

年度	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支差額	当期活動収支差額
23	810,384,227	756,067,680	54,316,547	54,218,268
24	792,198,357	747,931,019	44,267,338	46,600,733
25	810,971,132	758,814,076	52,157,056	53,633,927

指定管理特別会計

(単位：円)

年度	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支差額	当期活動収支差額
23	40,784,317	40,793,281	△8,964	△6,850
24	36,840,152	36,842,623	△2,471	△818
25	41,852,104	41,852,793	△689	667

5 事業別人員構成

(単位：人)

年度	正規職員			契約職員・登録・協力者			人員合計		
	地域・総務	介護	計	地域・総務	介護	計	地域・総務	介護	計
23	31	59	90	19	75	94	50	134	184
24	33	51	84	22	76	98	55	127	182
25	34	51	85	20	67	87	50	116	172

*介護職には給食要員を含む、総務には指定管理を含む

6 人件費

介護職員の処遇について、国の方針に則り改善した。

(単位：円)

年度	介護事業	地域・障害者支援センター・総務	総額
23	359,537,670	200,511,611	560,049,281
24	361,231,478	201,749,751	562,981,229
25	339,224,327	229,560,712	568,785,039

*退職金・社会保険料を含む、指定管理特別会計を含む

7 会務の運営

(1) 理事会と評議員会の開催

①理事会 平成25年5月28日

午前10時00分 会場 八代福祉センター 2階多目的ホール

出席理事 14名 監事 1名

議案 第1号 評議員の同意について

第2号 平成24年度事業報告について

第3号 平成24年度一般会計決算について

第4号 平成24年度指定管理特別会計決算について

第5号 定款の一部変更について

第6号 役職任用制度について

第7号 給与規程の一部改定について

評議員会 平成25年5月28日

午後1時30分 会場 八代福祉センター 2階多目的ホール

出席評議員 31名

議案 第1号 理事の選任について

第2号 平成24年度事業報告について

第3号 平成24年度一般会計決算について

第4号 平成24年度指定管理特別会計決算について

第5号 定款の一部変更について

第6号 役職任用制度について

第7号 給与規程の一部改定について

②理事会 平成25年11月28日

午前10時00分 会場 八代福祉センター 2階多目的ホール

出席理事 15名 監事 2名

議案 第1号 平成25年度一般会計第1号補正予算について

第2号 平成25年度一般会計第1号補正予算について

第3号 定款について

第4号 就業規則の一部改訂について

評議員会 平成25年11月28日

午後1時30分 会場 八代福祉センター 2階多目的ホール

出席評議員 28名

議案 第1号 平成25年度一般会計第1号補正予算について

第2号 平成25年度一般会計第1号補正予算について

第3号 定款について

第4号 就業規則の一部改訂について

③理事会 平成26年1月31日
午前10時00分 会場 八代支所庁舎 2階会議室
出席理事 14名 監事 1名
議案 11月28日に開催した理事会での理事5名への付託事項について

④理事会 平成26年3月25日
午前9時30分 会場 八代支所庁舎 2階会議室
出席理事 16名 監事 2名
議案 第1号 平成25年度一般会計第2号補正予算(案)について
第2号 平成25年度特別会計第2号補正予算(案)について
第3号 平成26年度事業計画(案)について
第4号 定款について
第5号 経理規程について
第6号 平成26年度予算(案)について
第7号 就業規則について

評議員会 平成26年3月25日
午後1時30分 会場 八代支所庁舎 2階会議室
出席評議員 26名
議案 第1号 平成25年度一般会計第2号補正予算(案)について
第2号 平成25年度特別会計第2号補正予算(案)について
第3号 平成26年度事業計画(案)について
第4号 定款について
第5号 経理規程について
第6号 平成26年度予算(案)について
第7号 就業規則について

(2) 監事会計監査

平成25年5月16日に本所において、平成24年度会計監査および平成24年度事業監査を受けた。

(3) 地域福祉推進委委員会

7町：合計13回

8 事務局会議

(1) 課長会議 月1回開催した。

(2) 担当者会議 適宜開催した。

9 職員の登用及び任用

(1) 職員登用試験 臨時職員6名を正規職員として採用した。

(2) 職員任用試験 管理職9名、監督職25名合格した。

10 会長の活動記録

(1) 定例決済業務等の遂行

毎週、火曜日と木曜日の定例日に加え、随時1日の週3日で行なった。

(2) 諸会議、行事への参加

社会福祉協議会会長会議や、山梨県社会福祉大会等諸団体の行事、社協主催諸行事等に出席した。

11 教育研修

(1) 理事評議員を対象とした研修会

①平成26年1月17日

「地域福祉政策の動向とコミュニティソーシャルワーク」

前厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課専門官

現文教学院大学准教授 中島修氏 講演会

②平成26年2月14日

「今、社協が取り組むべき課題～地域包括ケアに向けて」

香川県琴平町社会福祉協議会事務局長 越智和子氏 講演会

(2) 全・県社協・山梨県等による各種研修会参加

12 笛吹市への職員出向及び人事交流

(1) 地域包括支援センターへ福祉専門職員6名を出向させた。

(2) 人事交流として、福祉行政に職員1名を出向させ、笛吹市から1名受け入れた。

13 福祉活動の理解と促進

平成25年12月8日に「八代総合会館」で社会福祉大会を開催し、217名が参加した。

第2部では親子で楽しめる福祉をテーマにしたショーを開催し、子育て世代への福祉活動の理解と促進に努めた。

また、広報誌「かけはし」を年4回発行し全世帯へ配布したほか、ホームページの更なる充実に努めた。

14 視察研修受託及び講師派遣等

(1) 視察研修受入

厚木市社会福祉協議会役職員

北杜市社会福祉協議会役職員

(2) 研修者受入状況

団体・機関名	内 容	月	人 数	担 当 部 署
有限会社アドラック	実習生受入	5月	6名	訪問介護事業所
笛吹高等学校	〃	8月	17名	〃
浅川中学校	〃	8月	1名	八代通所介護事業所
〃	〃	8月	3名	境川通所介護事業所
優和福祉専門学校	〃	9月	3名	訪問介護事業所
山梨県社会福祉協議会	〃	6・7・8	3名	石和通所介護事業所
〃	〃	月	3名	〃
〃	〃	9・10・11	1名	〃
山梨県立大学	〃	月	2名	障害者支援センター
〃	〃	2月	1名	訪問介護事業所
帝京福祉専門学校	〃	8・9月	8名	〃
		3月		
		8・11月		

1.5 苦情処理

苦情について適切に対応し処理するため、第三者委員会を設置している。

本年度は特に問題となるような事象はなかったが、10月17日新委員による第三者委員会を開催し現事業の現況を報告した。

1.6 指定管理施設の運営

市から指定管理を受けた4施設の管理・運営を適切に行なった。

4施設：八代福祉センター、春日居福祉会館、御坂福祉センター、石和ふれあいの家

Ⅱ. 事業の状況

1 共同募金配分金事業

(1) 事業区分

A配分

対 象 事 業								事 業 費 (円)
①あったかサービス事業 (一人暮らし高齢者の給食サービス)								1,000,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
50,000	329,000	100,000	120,000	171,000	85,000	140,000	50,000	
②地域社会福祉事業 (ボランティアまつり他)								622,875
③みんなで地域をよくする事業 (社協PR事業：社会福祉大会他)								700,207

B配分

① 市町村社協活動事業 (広報紙発行、一人親交流事業他)								2,111,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
2,040,423	0	0	0	70,577	0	0		
②ボランティア活動事業 (ボランティア育成、研修、交流他)								374,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
93,000	17,000	0	199,000	65,000	0	0	0	
③地域特別事業 (ふれあいサロン活動)								2,469,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
81,868	326,000	315,000	402,000	558,000	270,455	477,000	38,677	
④福祉運動会事業 (世代間ふれあい運動会他)								150,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
0	0	55,000	0	95,000	0	0	0	
⑤ふれあい広場事業 (公園の遊具補修他)								300,000
本所	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	
0	0	0	0	0	0	300,000	0	

C配分

歳末たすけあい運動配分金事業 (被災者お米券贈呈・障がい者クリスマスグッズ贈呈)								300,000
--	--	--	--	--	--	--	--	---------

(2) 募金実績

平成25年10月1日から同年12月31日まで共同募金運動を行ない、多くの皆様のご協力をいただいた。(単位：円)

年度	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	本所	合計
23	4,206,175	2,449,105	2,310,582	1,829,267	1,059,146	1,509,371	186,524	591,567	14,141,737
24	4,029,474	2,461,871	2,224,810	1,814,599	1,048,440	1,472,412	162,637	492,195	13,706,438
25	3,989,601	2,445,652	2,204,633	1,879,243	1,027,956	1,505,297	150,700	588,682	13,803,550
前年比	99%	99%	99%	103%	98%	102%	92%	120%	101%

*この他、平成25年度の東日本大震災の義援金は、143,239円集まった。

(3) 会議等参加状況等

事務担当者会議 2回

2 総合相談事業

(1) 一般相談

住民の様々な相談を通じて、内容に応じた情報提供や課題の解決に向けて、関係機関との連携を行なった。(単位：人)

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
相談者数	610	279	45	127	97	121	20	1299

(2) 専門相談

弁護士、司法書士、民生委員等が専門的な相談を受けた。(単位：人)

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
回数	12	6	6	6	6	6	4	46
相談者数	46	22	16	18	20	23	0	145

(3) 地域包括支援センターの地区相談

御坂、一宮、八代、境川、春日居の5箇所で開催窓口を設け、65歳以上の高齢者とその家族や支援者から相談を受けた。(単位：人)

	御坂	一宮	八代	境川	春日居	合計
相談者数	225	174	215	114	144	872

3 各種資金貸付事業

(1) 国の生活福祉資金貸付制度の受付窓口

低所得者対策制度で、更生資金、福祉資金、修学資金、失業・住居喪失者対策としての総合支援資金につき、県社協への申請手続を支援した。(単位：人)

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
利用者数	5	0	1	1	0	0	0	6

(2) 福祉金庫貸付事業

生活困窮者に対し緊急的な資金(上限50,000円)を貸付け、生活の安定化への支援を地区民生委員との連携により実施した。(期末残高1,428,819円)(単位：人)

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
利用者数	10	1	0	0	0	2	0	13

(3) 善意銀行預託推進並びに貸付・給付

市民の善意の寄附金や物資等の預託を推進し、生活困窮者へ緊急支援を行なった。

ホームレス対応 4件

(4) フードバンク

- ・NPO フードバンク山梨に入会し食料品の提供を受けた。
年2回のフードドライブの集荷拠点となり、市民より合計610kgの食料品のご協力をいただいた。
- ・共同募金を利用してレトルトの米、缶詰などの食料を購入し、食に困る生活困窮者に対し、制度に繋がるまでの食料品の提供を行なった：70世帯
- ・定期便：8世帯
- ・雪害対策として、デイサービスでストックしてある保存食を提供：16世帯

4 地域福祉助成金事業

行政区や各種団体に対し助成金を交付して、地域福祉活動の推進を図った。

春日居町では、PTAの役員が中心となり、「パパママ体験」を実施し、命の大切さ、子育てについての話や赤ちゃんとふれあう体験を実施した。

行政区他 74箇所 助成金合計 3,647,964円

5 福祉活動団体への支援

福祉活動団体の事務支援等を行なった。

(1) 笛吹市老人クラブ連合会

役員会 5回
市老連だより発行 2回

友愛訪問活動	67地区
定期総会	平成25年 5月15日
ゲートボール大会	平成25年 5月28日
ねんりんピック参加	平成25年 9月28日
グラウンドゴルフ大会	平成25年10月29日
女性委員会研修	平成25年11月18日
役員研修会	平成26年 1月22日
県外研修	平成26年3月4日～3月5日
元気まつり	雪の為中止

(2) 笛吹市障害者連合福祉会

役員会	1回
定期総会	平成25年 5月31日
山身連グラウンドゴルフ大会	平成25年10月27日

(3) 笛吹市障害者団体連絡協議会

定期総会	平成25年 5月23日
役員会	8回
研修会	テーマ：「障がい者制度改革の基本的な流れ」 「地域で暮らす障害当事者の権利について」 平成26年 1月24日
視察研修会	平成26年 2月 1日

6 ボランティア活動支援事業

(1) ボランティア活動推進

ボランティアとの連絡調整、情報収集・提供、ボランティア登録等を行ない、ボランティア活動を推進した。

① 情報提供

ボランティア情報を社協広報誌「かけはし」(年4回発行)やホームページに掲載した。また、必要に応じパンフレット、ポスター等を作成し、情報提供に努めた。

ボランティア活動をしている団体並びに個人の登録数

団 体	個 人	合 計
3, 837人 (72団体)	275人	4, 112人 (72団体)

② ボランティア連絡会・研修会

ボランティア連絡会や研修会を開催し、会員相互の親睦と交流を行ない、ボランティア活動の促進に努めた。

役員会4回 各地域連絡会14回

研修会 テーマ「普段の暮らしと災害時のちがいについて」

実施日：平成25年11月27日

(2) ボランティア発掘・育成

①団塊の世代を中心に（シニアボランティア）、特技を生かした地域づくりに向けた養成講座の実施

子育て応援ボランティア養成講座 2月28日～3月14日 3回講座 30名

②養成講座受講者を中心としたボランティアグループづくり

ふえふき防災・災害ボランティアの会 8月30日設立 20名

ふえふき女衆ボランティアの会 9月4日設立 24名

③高齢者（概ね65歳以上）が介護支援ボランティアを通じて、社会貢献と生きがいづくりを行ない、介護保険事業所と地域住民との交流を促進する養成講座の実施

介護支援ボランティア養成講座 8月23日 8名

スキルアップ講座 6月26日、3月19日 25名

(4) 笛吹市ボランティアのつどい

「想定外の出来事が起きた時、備えておけば良かったこと」をテーマに、実際に被災された方から直接話しをお聴きし、非常時に対処する心構えとその方法を考える。

実施日：平成26年2月11日（火・祝）午後1時～3時30分

会場：石和スコレーセンター

内容：「想定外の出来事が起きた時、備えておけばよかったこと」をテーマにしたグループでの話し合い。

参加者：130人

(5) 福祉教育推進事業

福祉体験や高齢者・障がい者との交流を通じて、児童・生徒が社会福祉への理解と関心を高めることを目的に助成金を交付した。

助成校 全19校（各校上限6万円とする）

（単位：校）

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
小学校	5	2	3	1	1	1	1	14
中学校	1	1	0	1	0	1	0	4
高校	1	0	0	0	0	0	0	1

(6) ボランティアセンター検討会

市長との懇談会 平成25年 7月11日

市福祉総務課、市民活動支援課と会議 平成25年 7月17日

市保健福祉部と設置検討会 平成25年 7月30日

(7) 雪害ボランティアセンター設置

実施日：平成26年2月20日～平成26年4月30日

ニーズ受付件数：108件

ボランティア人数(延べ人数)：577人

7 ネットワークづくり事業

(1) 地域福祉活動推進

- ・夏の猛暑で、気象庁より異常天候早期警戒情報が発令された事により、8月9日～23日 独居高齢者・要援護者等に脱水予防啓発の為の訪問を実施：延べ365件実施
- ・災害時における協力に関する協定を笛吹青年会議所 JC様と本所にて平成25年12月2日に締結していたことで、雪害ボランティアセンターの運営に協力をいただくことができた。
- ・見守りネットワークの協力事業所、協力店：20事業所
- ・見守りネットワークの協定締結事業所：13事業所
内 JA ふえふき本所と締結し、JA 各支所と社協各地域事務所の連携がとれるようになってきた。
- ・2月14日～17日に大雪に対する安否確認を実施：延べ1222件

(2) サロン推進

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの輪を広げ、閉じこもりがちな生活をしている高齢者の孤独感や不安感の解消を図るため、公民館等を利用して実施した。

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
回数	230	178	153	143	141	509	52	1,406
参加者	2,739	1,907	1,446	1,433	840	6071	253	14,689
協力者	309	782	507	749	210	799	36	3,392

*サロン会議 八代、春日居 4回

(3) 一人暮らし高齢者交流

65歳以上の一人暮らし高齢者等を対象に交流会食会などを開催し、参加者の安否確認、閉じこもり防止、社会参加の促進を図った。また、お弁当の配達での安否確認も行なった。

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
回数	21	1	2	1	6	2	1	34
延参加者	406	33	139	19	67	127	20	811
協力者	125	12	85	18	11	34	3	288

(4) 世代間交流

昔のあそびや地域の伝統行事等を通して、高齢者と子ども達と一緒にふれあいながら体験するなど世代を越えた交流の促進を図った。

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
回数	3	2	3	1	1	1	1	12
参加者	77	177	115	700	78	222	160	1,529
協力者	33	64	24	31	5	6	40	203

(5) 一地区一良いいところ事業

各町単位で、地域の特性を生かし住民と協働で魅力ある企画立案を行なう事業で、今年度もより良い地域づくりを目指して、多くの住民が参加し実施した。

	事業名	実施日	参加者数	協力者数
石和	石和福祉健康まつり	平成25年11月10日	2,500名	140名
御坂	救急法講習会	平成25年8月1日	87名	8名
一宮	一人暮らし高齢者と ボランティアの交流会	平成25年4月24日 平成24年11月27日	59名 80名	36名 49名
八代	ふれあいサロン大運動会	平成25年10月18日	350名	18名
境川	世代間交流会	平成25年8月15日	180名	7名
春日居	春日居ボランティアまつり	平成25年2月23日	雪の為中止	
芦川	3月めし(昔の節句)	平成25年6月30日	58名	20名

(6) ひとり親家庭外出事業

市内に居住する母子・父子家庭の親子を対象とした外出交流事業

実施日：平成25年7月6日(土)

場所：横浜八景島シーパラダイス

参加者：36世帯 88名

8 介護予防事業(やってみるじゃん)

今年度は、大雪の為中止も55回あったが、例年通り地域の高齢者が要介護状態にならないように自ら介護予防事業に参加し、介護予防への取り組みが主体的に実施されるよう協力員の養成と活動支援を行なった。

年間合計回数 1,323回

年間延参加人数 15,331人

(1) 地域開催

各地域公民館等において、健康状態の確認と、介護予防に関する事業項目を実施した。

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
回数	288	200	155	122	125	142	66	1,098
(内)自主開催	0	2	1	28	0	16	7	54
延参加者	3,379	2,209	1,479	1,326	789	1,843	369	11,394
協力者	444	979	496	732	191	350	76	3,268

(2) 中央開催（体操講座）

地域の福祉センター等において、健康状況の確認と体操インストラクターの指導により運動機能向上に取り組んだ。

	石和	御坂	一宮	八代	春日居	合計
回数	43	23	68	24	67	225
延参加者	897	392	993	444	1,211	3,937

(3) 協力員養成講座

地域開催が各地域で自主的活動につながり、地域づくりにつながることを目的に地域で協力員の養成を行ない、自主開催に向け実施した。

実施時期 平成25年8月6日から8月20日

講義 ① 平成25年9月3日

現場実習 平成25年9月から10月末 (参加者2回地域開催実習)

講義 ② 平成25年11月12日

参加人数 11人

やってみるじゃん協力員養成講座修了者 11人 (講義①②、現場実習2回修了した者)

(4) 協力員フォローアップ講座

地域開催が各地域で自主的活動につながり、地域づくりにつながることを目的に地域で協力員のフォローアップをし、自主開催の内容充実を図るため実施した。

実施日 平成26年3月18日

参加者 平成23年度から平成25年度のやってみるじゃん協力員養成講座修了者
15人/47人中

9 生きがい支援事業（高齢者社会参加バス）

高齢者の社会参加促進の増進のために実施した。

実施日 平成25年10月8日・9日 場所 富士山方面 (単位：人)

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
参加者	138	68	58	50	30	39	6	389

1 0 緊急通報体制整備事業（救急コール）

緊急時通報装置の貸与と維持管理を行ない、高齢者等の日常生活の緊急事態における不安の解消を支援した。また、市役所の緊急通報システム「ふれあいペンダント」への移行支援を行なった。

（平成25年4月1日現在設置世帯数 八代 7件）

●撤去件数 6件

（内、ふれあいペンダントへの移行件数 4件）

●平成26年3月31日現在設置世帯数 1件

1 1 権利擁護事業

・日常生活自立支援事業

高齢や障害による判断力の低下等により日常生活に支障のある人の、権利の擁護と生活の安定を目的に、金銭管理や公的手続き等の支援を基幹社会福祉協議会との連携のもとに実施した。

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
援助時間数	393	41	99.9	106	0	83	0	722.9
延利用者数	210	35	35	80	0	47	0	407

1 2 後見センター事業

① 法人後見事業

認知症や障害のある人の中で判断能力が不十分な人の財産管理や身上監護を法律的に支援する制度で、法人として20名（昨年比18%増）を支援した。（単位：件）

	石和	御坂	一宮	八代	境川	春日居	芦川	合計
支援件数	5	5	0	4	1	5	0	20

市民後見人が4名活動を行っており、後見センターは、2名の後見監督人、2名の複数後見人として、市民後見人の支援を行なっている。

② 市民後見人養成事業

・平成25年度市民後見人養成講座開催

受講者：基礎コース33名・専門コース29名・フォローアップ研修会35名（年2回）

・生活支援員（日常生活自立支援事業の支援員）養成のための実習

（平成25年4月～平成26年3月）26名・延べ44回

・市民後見人養成のための実習（平成25年4月～平成26年3月）4名・延べ16回

③ 後見相談支援事業

・親族後見人の相談支援（申し立て・報告等） 実人数 2名

・市長申し立てに関する相談支援 実人数 7名

・その他権利擁護に関する総合相談支援 実人数 22名

1.3 障がい者地域生活支援事業

(1) 相談支援事業

① 障がい者相談支援事業

ア 相談内容集計（形態及び内容）

・相談形態 合計 5,923件（昨年5,908件）
 来所相談 516件 電話・メール相談 2,042件 訪問相談 803件
 個別会議 271件 同行外出 118件 関係機関調整 2,024件
 その他 103件

・相談支援内容 延べ 7,727件（昨年7,890件）

1回の相談で受けた相談内容（複数回答）

福祉サービス 1,472件 病状理解 305件 健康医療 671件
 保育 21件 不安解消 1,140件 人間関係 660件
 経済 397件 生活技術 487件 就労 496件
 社会参加 181件 権利擁護 1,381件 その他 516件

*平成25年度実利用者内訳（その他：手帳なし、診断不明、重複障害など）

（単位：人）

	身体	知的	精神	重症心身	発達	高次脳	その他	計
男性	61	23	99	0	14	11	25	233
女性	24	35	77	4	5	3	17	165
計	85	58	176	4	19	14	42	398

イ 社会生活力を高めるための技能訓練（SST） 延べ 101人

ウ ピアカウンセリングに関する業務 延べ 97人

② 特別相談支援事業

地域自立支援協議会及び各部会の開催により、障がい者にかかわる諸問題の相談や課題解決、障害福祉サービスの調整・創出、地域支援ネットワーク等の構築を行なった。

ア 専門的な知識を必要とする困難ケースへの対応

イ 市内の相談支援事業への専門的な指導、助言に関する業務

ウ 市内の相談支援体制の整備状況、ニーズ等を勘案した相談支援事業実施計画の作成に関する業務

エ 地域自立支援協議会の本会及び各部会を開催し、障がい者に関わる相談や課題の解決を行なった。

地域自立支援協議会

○全体会 5回 ○当事者・家族部会 12回 ○地域部会 44回 ○事業者部会 6回
 ○児童部会 4回 ○権利擁護部会 4回 ○事務局会議 3回

③ 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症、知的障がい者及び精神障がい者の福祉の増進を図るため、市長が行なう成年後見等の審判の請求のほか、市内の高齢者・障がい者等の審判への支援を

行なった。

- ・市長申し立て支援 4 件

④ 住居入居支援事業

独居の精神障がい者の賃貸住宅への入居支援を行なった。制度利用にはいたらなかったが、1 件の相談支援を行なった。

(2) 地域活動支援センター I 型事業 (月～土曜日 8 時 30 分～17 時 30 分)

① 基礎的事業

障がい者に通所してもらい、創作活動の機会の提供を行なった。また、社会との交流や地域の社会資源との連携強化のための調整や、障害に対する理解促進を図るため、地域住民への普及啓発事業を実施し、障がい者の地域生活支援を図った。

ア 家事教室	51 回	361 人
イ パソコン教室	88 回	205 人
ウ カラオケ	64 回	226 人
エ 餅つき大会	1 回	43 人
オ 農業体験	50 回	210 人
カ 太鼓教室	23 回	463 人
キ 芸術活動	42 回	148 人
ク 啓発事業	ハートランド祭り	300 人
	地域交流事業 3 回	延べ 530 人

* 3 つの III 型事業所が中心となって、地域ごとの交流事業を行なった。

② 機能強化型事業

医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域移行支援事業で、精神科病院長期入院患者の退院及び障がい者の就労等への理解促進を図るための啓発事業、専門ボランティア育成などを行なった。

ア 精神障害者地域移行支援事業事務局運営	ピアサポーター連絡会 2 回	地域移行推進活動 4 回
イ 発達障がい者支援体制強化事業事務局運営	連絡調整会議 4 回	啓発研修会 1 回
ウ 就労研修会	2 回	35 人
エ 心のボランティア育成講座	1 回	17 人
オ 地域啓発研修「自分たちで考えよう自分たちの生活」	1 回	32 人
カ 啓発研修 当事者・家族会障害者の防災についての県外研修	1 回	29 人

(3) 精神障がい者デイケア

毎週火曜日と金曜日に実施。プログラム全てにおける参加者の延べ人数 1,365 人。

在宅で回復途上の精神障がい者に、社会復帰の促進、地域における自立と社会参加の促進のための訓練指導を行なった。

名称	年 間 開所日数	年 間 通所者数	事業内容
一 宮 夢ふうせん	240	1208	<p>就労支援：四季のジャム作り、土産品包装の受注、手工芸品の製作、各種イベントでのバザー</p> <p>余暇活動：調理教室、絵画教室、太鼓教室、野外活動、レクレーションへの参加など</p> <p>*一宮地域住民との地域交流会の開催。一宮地域の道祖神祭や大文字祭などへの参加、活動拠点確保のための住民との協働。</p>
八 代 育 美 会	238	2485	<p>就労支援：箱折り、プラスチック成形、八代福祉センター館内清掃、手工芸品の製作、各種イベントでのバザー</p> <p>余暇活動：調理教室、美術館等見学、レクレーション、太鼓教室、野外活動、作業所交流会</p> <p>*八代地域住民との地域交流会の開催により、小学生や地域住民約400名が参加し、交流した。</p>
春日居 ふれあい工房	242	2881	<p>就労支援：封筒入れ、箱折り、春日居福祉会館館内清掃、ねじり菓子製造と売店販売</p> <p>余暇活動：調理教室、読書会、レクレーション、野外活動</p> <p>*春日居地域交流事業開催、定員10名に対して17名の利用者の実績があり活発な活動を行なった。1名が一般就労となった。</p>

14 介護サービス事業

(1) 通所介護事業

- ①介護保険事業者として要介護、要支援高齢者の在宅支援を行なった。
- ②市委託の概ね65歳以上の一人暮らし及び介護保険制度で自立と判断された高齢者に対するデイサービス提供を行なった。
- ③市委託障害者デイサービスによる入浴を含むサービス提供を行なった。

事業所別利用者数 稼働日数年306日 (檜峰255日、芦川84日) (単位：人)

事業所	石和	御坂	檜峰	八代	境川	春日居	芦川	合計
定員	40	25	15	40	25	35	-	180名
介護保険・予防	9513	6466	2,227	9,825	6,361	8,300	-	42,692名
生きがい	403	93	3	165	541	53	(160)	1,258名
相互障害	142	0	0	1	0	0	-	142名
年間利用数	10,058	6,559	2,230	9,990	6,902	8,353	(160)	44,092名
1日平均利用者数	32.9	21.4	8.7	32.6	23.6	27.3	(1.9)	145.5名
稼働率	82.2%	85.7%	58.3%	81.6%	90.2%	78.0%	-	79.3%

事業所別収支 (単位：円)

事業所	石和	御坂	檜峰	八代	境川	春日居	芦川	
23年度	収入	95,177,836	55,363,056	30,233,514	124,276,762	62,184,316	74,750,560	755,200
	支出	70,947,888	40,279,024	25,054,419	97,829,600	49,284,587	50,558,269	1,115,349
	収支差	24,229,948	15,084,032	5,179,095	26,447,162	12,899,729	24,192,291	△360,149
24年度	収入	85,254,710	57,266,688	26,307,586	121,319,511	66,988,568	88,811,562	550,400
	支出	74,932,169	38,571,653	27,687,218	102,242,811	52,603,404	51,888,110	802,364
	収支差	10,322,541	18,695,035	△1,379,632	19,076,700	14,385,164	36,923,452	△251,964
25年度	収入	99,438,262	59,522,139	21,805,929	114,013,389	62,714,882	74,094,954	515,200
	支出	77,591,759	41,813,678	24,706,091	91,360,510	51,567,029	48,331,595	834,926
	収支差	21,846,503	17,708,461	△2,900,162	22,652,879	11,147,853	25,763,359	△319,726

事業収支合計 (単位：円)

	収入合計	支出合計	収支差
平成23年度	442,741,244	335,069,136	107,672,108
平成24年度	446,499,025	348,727,729	97,771,296
平成25年度	432,104,755	336,205,588	95,899,167

④会議・研修会への出席

- ・各通所介護事業所で毎月定例職員会議を実施
- ・県、市が開催する研修会への参加
- ・社協内部研修
- ・介護福祉士養成校の実習生の受入れ

⑤地域との交流

- ・地域の方をお招きした敬老会を開催し、社協名入り手ぬぐいの配布。
- ・山梨県文化交流会でバイオリン演奏やオペラ等で八代通所・春日居通所において交流。
- ・ボランティアが、各通所介護事業所において本の読み聞かせやコーラス、舞踊などを行なった。

(2) 訪問介護事業

①介護保険事業者として、介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護、生活援助等のサービスを提供した。

介護度別利用者数

介護度別	利用者数	利用回数
要支援 1	12	626
要支援 2	36	2,367
要介護 1	27	2,180
要介護 2	22	2,639
要介護 3	10	1,365
要介護 4	6	1,080
要介護 5	10	979
合計	123	11,236

②市から委託された65歳以上の一人暮らしの高齢者宅にヘルパーが訪問し、生活援助員のサービスの提供を行なった。

③市障害者自立支援事業による家事・身体介護による在宅支援

④市障害者社会参加事業による外出支援

⑤笛吹市介護保険事業者連絡会への参加

⑥県、市実施研修会への参加

⑦常勤、非常勤職員に対する、毎月定例研修会の実施

⑧介護福祉士養成校の実習生の受入れ

⑨困難事例への対応

事業収支合計

(単位：円)

年度	収入	支出	収支差
平成23年度	57,809,767	50,726,533	7,083,234
平成24年度	54,251,379	51,265,337	2,986,042
平成25年度	49,613,456	45,700,829	3,912,627

(3) 居宅介護支援事業

①介護保険制度における在宅サービスを利用するために介護、予防サービス計画（ケアプラン）を作成し、要介護者やその家族の生活支援

②指定市町村事務受託法人により要介護認定調査（県外対象）の実施

④ 特定事業所として25年度4月より24時間対応、困難事例の受入れの実施

25年度 介護・予防サービス計画、認定調査の件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画書	426	402	392	393	382	385	391	389	368	364	360	364	4,616
認定調査	13	19	14	19	20	9	18	15	11	16	14	15	183
予防計画書	51	52	54	53	50	53	54	58	58	57	51	52	643

事業収支合計

(単位：円)

年 度	収 入	支 出	収 支 差
平成23年度	66,988,760	75,136,770	△8,148,010
平成24年度	67,945,346	80,927,148	△12,981,802
平成25年度	73,787,099	76,419,955	△2,632,856

③各種研修会等への参加

外部事例報告（峡東地区・山梨医科大学等）

④職場内研修開催 月 1回（その他4グループ各週1回）

⑤市介護保険事業者連絡会 年 4回

⑥介護支援専門員実務研修演習助手 2名（4日間）

※その他

・特定事業所として25年度4月給付から加算開始

(4) 指導監査

①市福祉総務部福祉総務課による実地指導監査

・本所法人 平成25年12月20日

②峡東保健福祉事務所による実地指導監査

・居宅介護支援事業所 平成25年 9月26日

・八代通所介護事業所 平成25年 7月26日

・檜峰通所介護事業所 平成25年 7月26日

・石和通所介護事業所 平成25年 7月31日

以上